



「コツコツと」

(作曲家 田村 洋)

ある時、座右の銘をと尋ねられハタと困ってしまった。僕には座右の銘が何も無いのである。困り上げた果てに、「コツコツと」と書いた。

中学一年から作曲の真似事を始め50年以上の時が流れた。65歳となった今もコツコツと一音一音の積み重ねの毎日、勿論平安に書き進めるはずもなく、暗中模索である。

先日NHKTVで映画監督の宮崎駿さんのドキュメンタリー番組を見た。数々の名作を送り出した名監督の何度も口にした印象的な言葉「ちえ！面倒くさい」まさに「ちえ！面倒くさい」の日常の積み重ねの上に作品は生まれる。

私は様々な違った分野の人々と仕事をして来た。舞台の袖で震える役者、青ざめる演奏家、頭をかきむしりながら原稿用紙に向かう物書き、繰り返し身体を動かすダンサー、まさに「ちえ！面倒くさい」を毎日毎日繰り返しくぐり抜けた人々の姿、孤独と自分との戦いを乗り越え到達した人間から感動は生まれる。芸術は人間を幸せにする為にあると、私は信じる。今宵も「コツコツと」「ちえ！面倒くさい」の日々である。



【Profile】

旧山陽町（現・山陽小野田市）出身 作曲家。
山口県立大学国際文化学部教授、山陽町文化会館芸術監督
1977年第19回パリ国際ギターコンクール作曲部門入賞他、国内外で数々の賞を受賞。NHK朝ドラ「和っこの金メダル」他作曲。1990年にはベストドレッサー賞も受賞。おいでませ！山口国体・山口大会総合式典プロデューサー。ファイトちよるのの作曲者。

「絵姿女房」「目びきのネコ」「高杉晋作頌」「赤間神宮野外劇」など座付作曲家として舞台を押し上げた。ほかに劇団民芸、テアトルハカタの舞台音楽、NHKテレビ「和っこの金メダル」など膨大。弥生の土笛の作曲演奏で有名だが、日本人で初めてパリ国際ギターコンクールの作曲賞を受賞した。その記念に下関で初のリサイタル開催。発起人に松岡敏行、古川薫、赤江瀑、武部忠夫、協力海峽座。創作オペラ「わが愛せしジバング」の作曲指揮。

主な活動

- 山口県が舞台となったNHK連続テレビ小説「和っこの金メダル」で音楽を担当。
- ドキュメンタリー「かよく桜の咲く日」で文化庁芸術祭作品大賞。
- NHKドラマスペシャル「橋の上においでよ」で文化庁芸術祭作品大賞。
- 映画「橋は生きている」で内閣総理大臣賞受賞。
- 演劇「裸の大將放浪記」「おはなはん」など、舞台音楽も多数担当。
- フランススコ・ザビエルを題材にしたオペラ「わが愛しのジバング」も評価が高い。



【寄付のご紹介】

当会会員 社会福祉法人緑樹会理事長 故末谷勝則様ご親族よりご寄付（20万円）を賜りました。理事長は生前より会の活動に深くご賛同・ご理解いただき種々ご協力いただいております。
当寄付金は、末谷様の御意思に沿って「芸術・文化 若い芽を育てる会」の助成金（特別賞）として活用させていただきます。

☆☆ お知らせ ☆☆☆

5周年記念イベント

奨励賞受賞者による記念コンサート
平成26年7月5日（土）開催
梅光学院大学スタージェスホール

♪ 助成希望者を募集しています ♪

音楽、美術、演劇、映像、その他芸術文化に携わる方、ご応募お待ちしております。
助成内容等詳細は、ホームページ・事務局にお問い合わせください。



〒752-0966 : 下関市長府亀の甲1-2-1
電話(携帯) : 080-5626-2010
携帯(メール) : wakaime2010@ezweb.ne.jp
E-mail : muto68120@yahoo.co.jp
ホームページ : http://ymat2010.org/



2013年

NHK記者レポート 皆様ご覧になっていただけましたか！！

2013年5月30日放送の『NHK情報維新やまぐち』では、若手芸術家支援市民団体の活動として「NPO法人 芸術・文化 若い芽を育てる会」の活動が特集を組んで紹介されました。収録は、梅光学院スタージェスホールで開催した公開審査の収録、事務局のミーティングの様子や水内会長の医師としての仕事など特集を組んで取材していただきました。TVで放送された内容を一部ご紹介いたします。



〔女性リポーター〕
世界へと大きくはばたいてもらおうと若い芸術家を支援する活動をしているNPO法人が下関市にあります。
〔男性リポーター〕
自分たちでお金を出し合って可能性豊かな芸術家に賞を送り励みしてもらおうというこの団体を池辺記者が取材しました。

〔池辺記者〕

下関で開かれた若手芸術家を対象にした審査会です。主催したのは企業でも自治体でもありません。市民で作るNPO法人です。会長を務める水内知子さんです。下関市内で医師をしています。活動のきっかけになったのは、息子の友人の若手ピアニストを応援したことです。

留学先のモスクワから帰国した時は下関に招いてリサイタルを企画したりしました。その時ピアニストの話した言葉が印象に残っています。「リサイタルを開きたくてもなかなか開けないし応援してくれる人も少ない、今から磨けば光るといふ原石はたくさんいます。」原石を磨く力、研磨剤のようなものが応援する私たちの力だと思います。可能性を秘めた若い芸術家たちを応援したい、水内さんは仲間たちと3年前NPO法人を結成いたしました。下関を中心に500人近くが会員として参加しています。



会に取って最も大切なイベントは若手芸術家を対象にした年1回の審査会です。この日は2日後にせまった最終審査の段取りを確認しました。そして迎えた当日、最終審査には県内外の5人が進出しました。現代音楽やクラシック、中にはこんなジャンルも山口伝統の驚流狂言です。パフォーマンスや作品の完成度もさることながら、この人を応援したいと思わせる芸術家の熱意や人柄も大きな要素となります。

今回はたまたま楽器の演奏家が目立ちましたが、レポートにでてきた狂言ももちろん対象となりますし、写真や彫刻それに文学などもそうです。下関から世界へと羽ばたいてほしい、市民の厚い思いが可能性を秘めた若者たちを支えます。

芸術活動は企業や自治体が大口のスポンサーになるのが目立ちますが、最近は財政事情の悪化から補助金が大幅に削減されて運営に苦しむ団体もいます。そうした中で規模は違いますが、市民がスポンサーになって活動をささえようという今回の動きは大変珍しいものではないでしょうか。

〔男性リポーター〕そうですね。この賞が飛躍の原点なんだというアーティストが将来出て来られるかもしれませんね。
〔女性リポーター〕報道スタジオレポート下関支局から若手芸術家支援するをNPO法人芸術文化若い芽を育てる会を紹介しました。



第4回受賞者結果発表

【奨励賞】

第4回支援者は、京都市在住のヴィオリニスト、相本朋子さんに決

音楽、狂言、演劇等々の各分野から8名の応募があり、1次書類、2次専門、最終審査（梅光学院スタージェスホールにて公開審査）、期待度や地域貢献度など5項目で選定、相本さんに助成金50万円を贈りました。

相本 朋子
(ヴァイオリン)
京都市在住
下松市出身



★プロフィール

慶応義塾大文学部卒業 桐朋オーケストラアカデミー研修課程修了
京都市交響楽団在籍
山口県学生音楽コンクール弦楽部門、全日本学生音楽コンクール福岡大会、下松市芸術文化振興奨励賞、江藤俊哉ヴァイオリンコンクール、大阪国際音楽コンクール、日本クラシック音楽コンクール全国大会、KOB E国際学生音楽コンクールなど多数入賞。現在、京都交響楽団ヴァイオリン奏者としてオーケストラを中心に室内楽、ソロ活動を行っている。

★受賞メッセージ★

この度はありがとうございます。
今年度の奨励賞をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。本日は現在私の所属しております京都市交響楽団での本番と重なってしまい、総会に出席できないことお詫言いたします。会の皆様のあたたかいご支援、大変嬉しく心強く思っております。今回の奨励金を受けて、来年1月5日に防府市アスピラートにてヴァイオリンとピアノによるリサイタルを開催する予定です。コンサートを通してあたたかい気持ちになれる、元気になれる、会場の皆様と作品のもつ無限大のエネルギーを共有できるような時間になりたいと思っております。

【牛尾シズエ特別賞】

米本 太郎
(鷲流狂言)
山口市出身



★プロフィール

東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業 山口県立大学国際文化学研究科修了
県指定無形文化財（山口鷲流狂言）の伝承・復旧活動を展開
昨年「サントリー地域文化賞を山口鷲流狂言保存会が受賞」鷲流狂言公演、山口県立大学鷲流狂言公演、二月会再興プロジェクト山寺コンサートなど定期的に公演を開催、古典芸能を身近に捉え、伝承者の育成にも励んでいる。

★受賞メッセージ★

この度は、最終審査に参加させて頂き、誠にありがとうございます。そして、牛尾様は、若い人に様々な支援をされてこられた方だったと伺いました。お会いすることができなかったこと、非常に残念です。
今回の受賞は、私のような未熟な者には過分ではございますが、鷲流狂言のことを知って頂き、またこのような事業があることを山口で活動している人たちに知って頂ける機会になればと思っています。

伊藤 憲孝
(ピアノ)
広島県出身



★プロフィール

ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学卒業
福山平成大学准教授・エリザベト音大非常勤講師
イタリア「チタ・ディ・ヴァレンチノ国際コンクールで1位」N響、名古屋フィルハーモニー、大阪、広島交響楽団、サイトウ・キネン・オーケストラ、プレーメンフィルハーモニー管弦楽団、マレーシア国立交響楽団など多数の交響楽団と共演 国内・ヨーロッパ・アメリカ・セルビア・マレーシア・韓国など世界各国で演奏活動を展開、マレーシア・東京などで後進の指導を行っている。

★受賞メッセージ★

この度は、このように素晴らしい賞を頂戴いたしまして、心より御礼申し上げます。
私は広島県を拠点に、ピアノを演奏しながら教鞭をとっておりますが、これからこの賞を頂いたことを励みに、既存の名曲のみならず知られざる作品や現代の作曲家が作曲した新作などを、皆様に紹介できるよう精進してまいりたいと思っております。

～ 公開審査 梅光学院大学スタージェスホールに於いて ～

最終選考（公開審査）を5月25日に開催しました。「音楽部門からピアノ〔2名）・ヴァイオリン・サクソフォン、伝統芸能（狂言）」の5名の方が挑戦され、奨励賞・牛尾シズエ特別賞・会場の皆様が選ぶオーディエンス賞を決定しました。



【ヴァイオリン】

【鷲流狂言】

【ピアノ】

【サクソフォン】

【特別審査員】

【公開審査会場参加者】

最終審査は理事16名、特別審査員「下関美術館館長 濱本聰様、日本舞踊家 花柳三吉様、劇団海峡座主宰 武部忠夫様、ピアニスト 川田健太郎様」の4名で厳正に行われました。

今年新たにオーディエンス賞を設け、会場の皆様にも審査にご参加いただきました。第1回目のオーディエンス賞は、相本朋子さんに決定、奨励賞とダブル受賞となりました。

また審査会場には、昨年度の奨励賞受賞者（尾形大介さん）やピアニストの（山根浩さん）にもお越しいただき、結果発表までの待ち時間に、舞台に上がりピアノのことやいろいろなトークで会場の皆様を楽しませていただきました。

第4回通常総会で、24年度の事業及び収支報告並びに25年度の事業及び事業予算の御承認を頂きました。

平成24年度 特定非営利活動事業会計収支計算書 (H24.4.1～H25.3.31)				特定非営利活動法人 芸術・文化 若い芽を育てる会			
科目		金額		科目		金額	
I 収入の部				II 支出の部			
1 財産運用収入				1 事業費			
受取利息	102	102		・ニューズレターの発行	119,600		
2 会費・入金収入				・支援活動事業(奨励金等)	1,124,552		
会費年会費	1,862,000			・文化活動主催・後援・総会・その他	702,275		
寄付金(牛尾シズエ理事)	20,000	1,882,000				1,946,427	
3 事業収入				2 管理費			
文化活動主催・後援・総会等	658,000	658,000		・入会案内等	117,600		
4 その他の事業繰越金収入	177,500			・事務費・通信運搬・HP・その他	302,490	420,090	
当期収入合計(A)			2,717,602	当期支出合計(C)			2,366,517
前期繰越額	4,201,877	4,201,877		当期収支差額(A)-(C)			351,085
収入合計(B)			6,919,479	次期繰越予定額(B)-(C)			4,552,962